

金浦瓦版

放光院護持会総会開催される

三月十五日(日)午後一時より、

放光院にて護持会の総会が開催されました。役員改選により夜久野地区から代表一名、東河地区から副代表一名、磯部地区から会計一名、夜久野地区から監事一名、東河地区と磯部地区から庶務各一名が選出されました。いずれも任期は一年としています。

会計報告及び会計監査報告は承認されました。今年の大師祭は、津軽三味線が新たに計画されています。

昨年同様に奉納和太鼓や一道貞心茶屋・護摩炊きも催されます。今年には東源寺・国清寺・円明寺の三ヶ寺が揃って読経される予定になっています。新たな事柄としては二点、一点目は「石仏に親しむ日」(定期的に気綱乃会や護持会役員が集まって、八十八ヶ所石仏巡りの参道や座像の整備・補修をする)には幟を立てて作業を行う。二点目は、昨年辺りから夜久野高原の産業・歴史文化開発構想が行政と連携して話し合われています。この好機に夜久野高原の風景・歴史遺産の保護と知名度アップを願い市当局に要望書を提出します。コロナ感染拡大の状況によっては、大師祭開催が危ぶまれます。

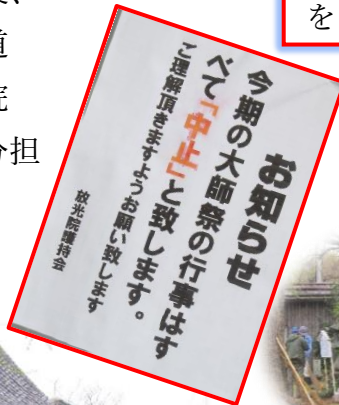
発行日：令和二年四月二十二日
発行・編集：金浦区自治会



4月5日(日)放光院にて運営委員会が開かれ、今春の大師祭りはコロナ感染防止の為に中止にすることが決まりました。護摩木は回収し、既に購入されている場合は払い戻しをしました。地区の世話役さんには大変お世話をおかけしました。

4月20日(月)護持会役員放光院・88ヶ所石仏参道作業

役員約20名が午前9時に集合し、般若心経を唱えた後、88ヶ所石仏巡りの参道整備や賽銭回収・放光院内外清掃作業等を役割分担に従って実施しました。



四月十六日(木)金浦老人会(仮称)による放光院清掃奉仕活動を実施しました。総勢十六人のメンバーが院内と境内を分担して掃除を行いました。コロナウイルス感染拡大を防ぐ為に、総会と食事は中止となりました。

